

## 加藤泰三著 『霧の山稜』

太平洋戦争前に出版された画文集である。著者はやがて応召、帰らざる人となった。華々しい登攀などには触れられてないが、しっとりした山の詩情が詩と散文で綴られており、添えられた挿絵もほのぼのとして心が和む。

私如きが駄文を並べるよりも本文を引いた方が早いので、以下の画文をご覧ください。

昭和16年初版、同39年再版、朋文堂刊



[「山書の小溪」目次に戻る](#)